

令和5年（2023年）2月7日
熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

令和4年度（2022年度）熊本県学力・学習状況調査の結果について

昨年12月に実施しました学力・学習状況調査の結果を別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

1 本調査の主な目的

本県の学力と学習状況の調査を行い、児童生徒一人一人の学習の改善と教員一人一人の授業力向上に生かすことを目的としている。

2 結果の概要

（1）教科に関する調査結果概要

- 中学校において、令和元年度からの調査で初めて1年生の全教科が全国平均を上回り、小中学校の接続に改善の傾向が見られる。
- 全14教科中、全国平均値を上回ったのは、令和元年度の3教科から、9教科に増加している。

（2）質問紙調査結果概要

<児童生徒質問紙>

- 「先生は、分かるまで教えてくださいか」の項目で、小中学校の平均は、昨年度と比較して向上している。
(小学校 R3:89.7%→R4:89.9%、中学校 R3:84.4%→R4:85.0%)
- 「先生は、クラスみんなのことをほめてくれる」の項目で、ほめてくれると感じている児童生徒の割合が非常に高く、年々向上している。
(小学校 R3:93.9%→R4:94.3%、中学校 R3:92.3%→R4:93.8%)

<学校教師質問紙>

- 教員の授業改善の状況としては、肯定的な回答が非常に高く、年々向上している。(小学校 R3:93.7%→R4:95.2%、中学校 R3:93.4%→R4:94.6%)

3 今後の取組

- 各学校においては、学力・質問紙の結果が示された個人票を基に、子供一人一人が主体的に学ぶ意欲を高められるような声掛けやアドバイスを丁寧に行う。
- 各学校に提供された個人別復習プリント等を活用し、一人一人の課題克服に向けた取組を行う。

※その他の詳細については、別紙参照

担当 熊本県教育庁市町村教育局義務教育課
課長 藤岡 (57840) 審議員 井手 (57843)

令和4年度(2022年度) 熊本県学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1)実施期間 令和4年(2022年)12月1日(木)~12月9日(金)

(2)調査対象 市町村立小学校第3~6学年、中学校第1~2学年

(※義務教育学校第3~8年含む。熊本市を除く。)

小学校		中学校	
調査対象校数	調査対象児童概数	調査対象校数	調査対象生徒概数
238校	約36,000人	118校	約18,000人

(3)調査事項 教科に関する学力調査【小学校】国語、算数【中学校】国語、数学、英語
 質問紙調査【児童生徒用】学習習慣や生活習慣、友達や学校との関わり等
 【教師用】授業改善の状況等

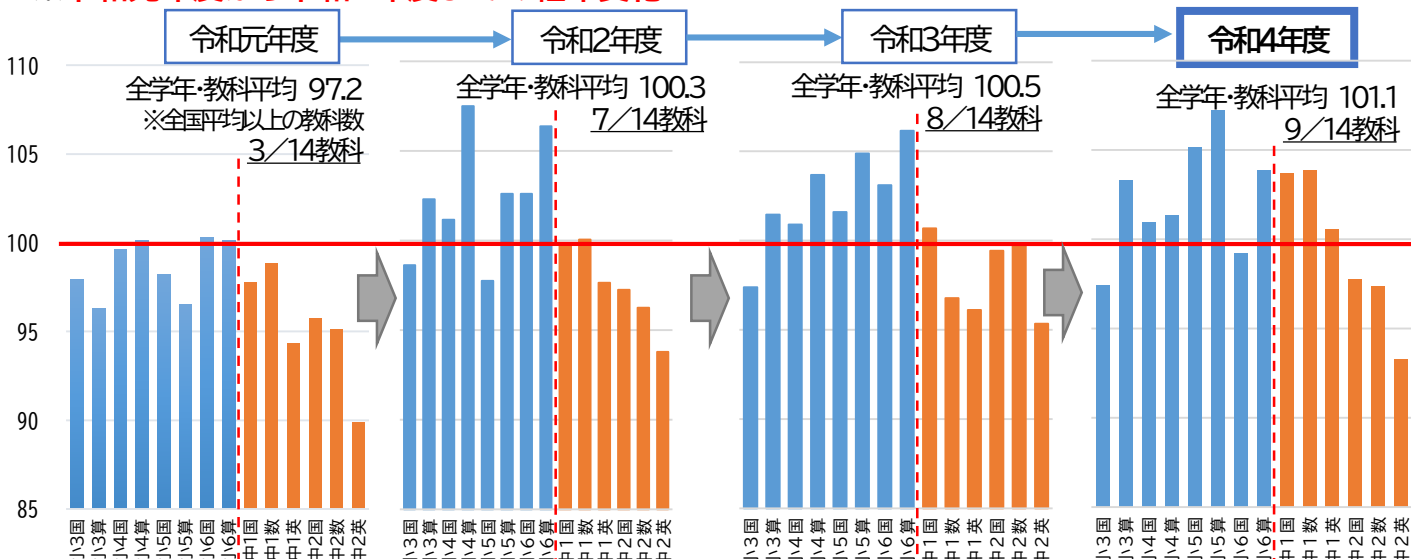
2 教科に関する調査結果概要

※数値は、全国平均値を100とした時の県平均の割合
 ※全国平均値は、同調査を受けた他県等の結果を含めた参考値

学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年		中学1年			中学2年		
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
熊本県	97.4	103.3	101.0	101.3	105.1	107.2	99.2	103.9	103.7	103.9	100.6	97.7	97.4	93.2
熊本県 (R3年度)	97.4	101.5	100.9	103.7	101.6	104.9	103.1	106.2	100.7	96.8	96.1	99.4	99.9	95.3
熊本県 (R2年度)	98.6	102.3	101.2	107.5	97.8	102.6	102.6	106.4	99.7	100.1	97.6	97.3	96.2	93.8
熊本県 (R元年度)	97.9	96.3	99.6	100.1	98.2	96.5	100.3	100.1	97.8	98.9	94.3	95.7	95.1	89.9

正答率が全国平均以上だった項目は、小学4、5年の国語、小学3~6年の算数、中学1年の国語、数学、英語である。

※令和元年度から令和4年度までの経年変化

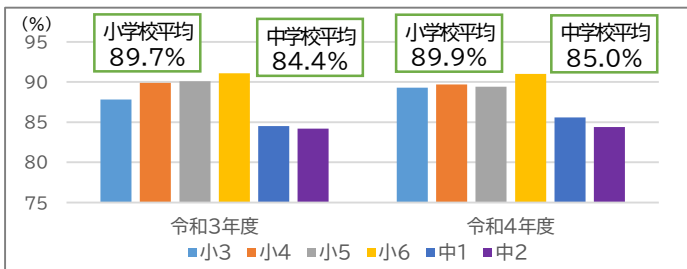


全国平均を上回る教科が増加している。中学校において、過去4年間の調査で初めて1年生の全教科が全国平均を上回り、小中学校の接続に改善の傾向が見られた。

3 質問紙調査結果概要

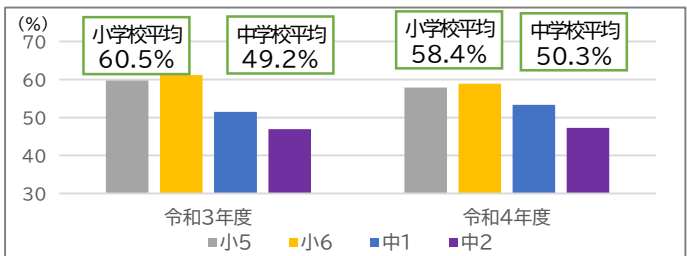
児童生徒の学習に関する取組状況（児童生徒質問紙調査）

○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合



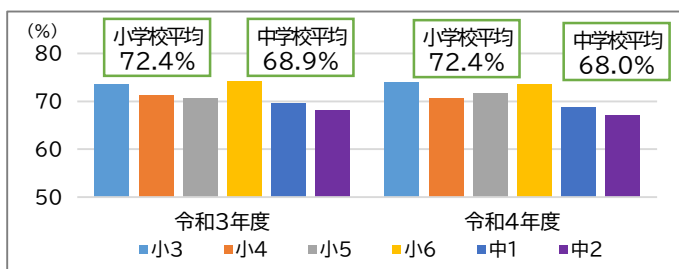
小中学校平均は、昨年度と比較して向上している。小学生と中学生では、約5%の意識の差が見られる。

○ 勉強するときは、自分で計画を立てていますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合 ※令和3年度調査以降、小3・4年の実施なし



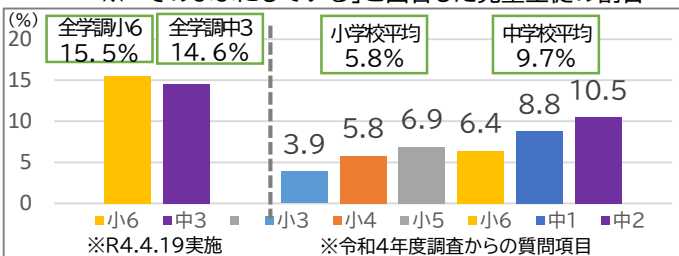
小学校平均は昨年度より低くなっているが、中学校平均は昨年度より向上している。 ※R4全国学力・学習状況調査時の結果(小6:69.3%、中3:54.7%)

○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合



小中学校ともに、昨年度と同程度である。 ※R4全国学力・学習状況調査時の結果(小6:74.7%、中3:73.0%)

○ 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。 ※「そのままにしている」と回答した児童生徒の割合



小中学校ともに、学年が上がるにつれて、分からないことがあったとき、そのままにしている児童生徒が増える傾向にある。

教師の授業改善に関する取組状況（学校教師質問紙調査）※「熊本の学び」との関連

○ あなたは、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を心がけていますか。 ※肯定的に回答した教師の割合

校種	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	93.1%	93.7%↗	95.2%↗
中学校	91.0%	93.4%↗	94.6%↗

○ あなたは、授業に当たって、単元終了時の児童生徒の姿を具体的にイメージして指導を行っていますか。 ※肯定的に回答した教師の割合

校種	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	94.3%	95.6%↗	96.8%↗
中学校	91.9%	94.9%↗	95.3%↗

肯定的な回答が年々増加し、子供を主体とした授業改善への意識や、大切にしていきたい項目の一つ「単元終了時の子供の姿」を設定した授業づくりが定着してきている。

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」(本県の教育行動指標)に関する調査結果

児童生徒質問紙調査				学校教師質問紙調査			
○ 先生はクラスのみんなのことを、ほめたりはげましたりしてくれますか。(小3・4)先生はクラスのみんなのことを、ほめてくれますか。 ※肯定的に回答した児童生徒の割合				○ あなたは、授業等で関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。 ※「よく行っている」+「どちらかといえば行っている」と回答した教師の割合			

校種	R2年度	R3年度	R4年度	校種	R2年度	R3年度	R4年度
小学校平均	86.9%	93.9%↗	94.3%↗	小学校教師	98.0%	97.9%↘	98.9%↗
中学校平均	84.8%	92.3%↗	93.8%↗	中学校教師	96.6%	97.3%↗	96.7%↘

ほめてくれると感じている児童生徒が年々増えている。

褒めるなどの取組を行っている教師の割合は高い。